

# 2011年6月のワイン会



## 2000年第1級シャトーラトゥールのセカンドワイン

### Les Forts de Latour 2000 レフォール ド ラトゥール

ロバート・パーカーJr.「ボルドー第4版」より

ラトゥールのスタッフは常々ラトゥールの「セカンド」

ワインなのだから品質的には1855年の格付け二級と同等であると主張してきた。事実、彼らは、ラトゥールではレ・フォール・ド・ラトゥールのブラインド・テイस्टィングの際に比較対象として二級シャトーのワインが出されていると主張する。もし、レ・フォール・ド・ラトゥールがとてもよいものにならない場合は、ポイヤック（サード・ワイン）に格下げするかどうかの決断がなされているという。私も、例えば2000年、1996年、1982年のような特定のヴィンテージでは彼らの査定に同意したいのだが、より客観的に見ると、レ・フォール・ド・ラトゥールは四級相当の品質である。もともと、それでもボルドーで最上の「セカンド・ワイン」であることに変わりないのだが。

醸造法はラトゥールとまったく同じだが、ブドウはプティ・バタイエ、コンテス・ド・ラランド、そしてレ・フォール・ド・ラトゥールの3カ所の畑のものが使われる。また、上記に加えて、ラトゥールのロットでもあまり「グラン・ヴァン」とは言えないとみなされたもの（若木のものが多い）もブレンドされる。レ・フォール・ド・ラトゥールの特徴は、ラトゥールそのものとびっくりするほど似ている。ラトゥールよりは軽く、早く飲み頃になるだけである。ボルドーの有名シャトーで生産される最上のセカンド・ラベル（あるいはマルキ）であることに間違いはない。



## Chateau Gloria 2007 グロリア

ブルジョワの中でも味わいの深さで格付けワイン並み人気を誇る実力派ワイン。毎年安定したワインを造りだしており、フランスのみならず世界各国から高い評価を得ている。

特級シャトー並みの実力と人気を誇り、2007年ヴィンテージも新鮮で芳醇な果実味とスパイシーさががっちり組み合わせ合わせたバランスのよい味わいになっている。もちろん今でも十分に楽しめますが長期熟成にも耐えゆるししっかりとした骨格を持ち合わせており、熟成が進むとまろやかさが増したリッチな味わいがたまらない満足感を与えてくれる。深い色調と豊満な味わい。西洋杉のようなスパイシーなブーケ、丸みのあるコクとリッチな果実味が広がる。比較的若くからも楽しめるが熟成にも向き、7~10年ほどでその素晴らしさを確認できる。特級シャトーではなくとも、知っておくべきシャトーのひとつ。



Medoc メドック地区の格付け（1855年）

ワイン名

AOC